

# 大鹿村活性化プロジェクト委員会について

## 1. 委員会の目的

「村の資源を引き出しながら、保全と観光を推進し、村民の望む未来と村の継続的な将来を照らし合わせながら議論し判断する」（大鹿村活性化プロジェクト委員会規約）

- 多角的な交流人口の創出
- 関係人口の獲得
- 村民主体の未来づくり

## 2. 委員会の構成

- 委員長:村長
- リーダー:小林憲市氏
- 公募委員

## 3. 役割分担

### ● 村(委員長・観光協会)

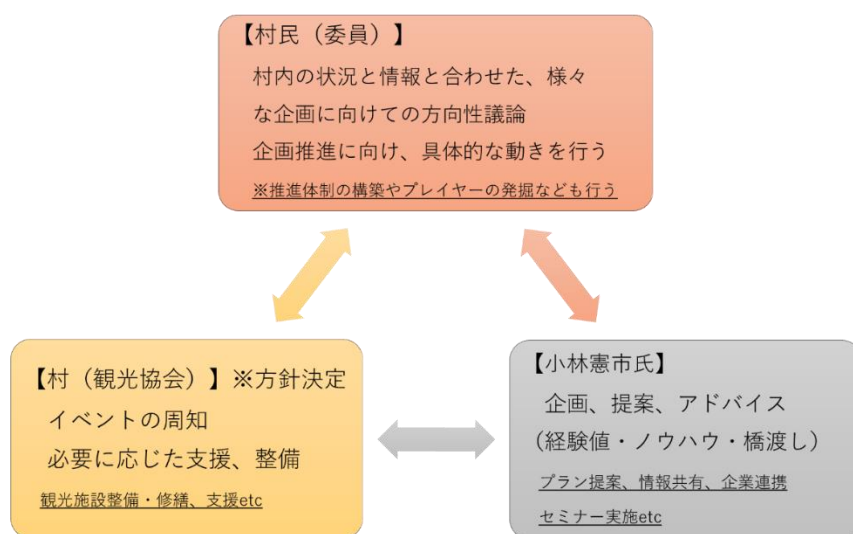
- 方針決定
- 必要な整備・支援
- PR・観光施設の整備

### ● リーダー(小林憲市氏)

- 経験・ノウハウを活かした提案
- 企業連携、情報共有
- セミナー等の実施

### ● 委員

- 村内情報を踏まえた企画議論
- 推進体制の構築、プレイヤー発掘
- 企画推進の実働



## 4. ゲスト参加による協働の推進

委員会では、必要に応じて 委員以外の村民・事業者・JR 東海・大学・企業などがゲストとして参加し、

- 取り組みの共有
- 事業内容の説明
- 課題の共有
- 委員との共同議論
- 現場での実行・運営への参加

を行う。委員会は、「村全体で取り組む協働プラットフォーム」として機能。

## 5. 会議で扱う主なテーマ

1. 交流人口獲得を目的とした観光促進案
2. 地域資源を活かした展開事案
3. 地域内外の連携・共同活動
4. 委員長が必要と認めた事項

## 6. 委員会の進め方

1. 現状・データ・課題の共有
2. 委員・リーダーの提案
3. ゲスト(村民・事業者・JR 東海等)による説明・意見・提案
4. 観光／資源活用／連携の 3 軸で議論
5. 委員＋ゲストが協働で現場実行

## 7. 委員会の特徴

- 村民主体の意思決定
- 多様な視点(委員＋村民＋事業者＋JR 東海等)
- 実行力のあるプロジェクト型組織
- 地域資源を活かす企画創出
- 交流人口・関係人口の拡大が最終目的
- 外部との協働により“村全体で動く”体制を構築